

# 稲作だより

第7号

令和3年7月2日発行  
山形おいしさ極める！  
米づくり日本一プロジェクト  
西村山農業技術普及課  
TEL：0237-86-8215

**草丈、茎数は多く、葉数は平年並みに推移しています。  
穂肥は生育診断に基づき、適期・適量を徹底しましょう！！**

## 【管内の生育状況（6/30 普及課調べ）】

生育調査圃	年次	移植期	草丈 (cm)	茎数 (本/m <sup>2</sup> )	葉数 (枚)	葉色 (SPAD値)
はえぬき (寒河江市高屋)	本年	5月16日	52.7	793	9.5	44
	平年	5月17日	46.5	699	9.5	43
	平年比	並み	長い	多い	並み	濃い
つや姫 (寒河江市高屋)	本年	5月16日	48.7	618	9.5	39
	平年	5月18日	41.9	556	9.5	41
	平年比	早い	長い	多い	並み	やや淡い
雪若丸 (寒河江市寒河江)	本年	5月22日	37.9	675	9.6	43
	指標	5月21日	37.1	635	9.7	45
	指標比	並み	並み	多い	並み	やや淡い

## 【穂肥】

- ・中干し後、茎数や葉色が適正値になったことを確認し、基準量の範囲内で行いましょう。
- ・生育量が過剰な場合や葉色が濃い場合は、窒素成分量を0.5～1kg/10a減らしましょう。
- ・施肥時期が遅れると玄米タンパク質含有率が高まるので、適期を逃さずに行いましょう。

## 品種毎の穂肥時期・量の目安（N成分 kg/10a）

地域・品種	出穂期 (予想)	出穂30日前	出穂25日前	出穂20日前	出穂15日前	
中山間	ひとめぼれ	8月5日	-	-	7月16日 1.0～1.5kg	-
	はえぬき	8月6日	-	7月12日 1.5～2.0kg	-	-
	雪若丸	8月6日	-	7月11日 1.5kg以内	-	-
	つや姫	8月11日	7月12日 1.0～1.5kg	-	-	-
	コシヒカリ	8月11日	-	-	-	7月27日 1.0～1.5kg
	あきたこまち	8月1日	-	-	7月12日 1.5～2.0kg	-

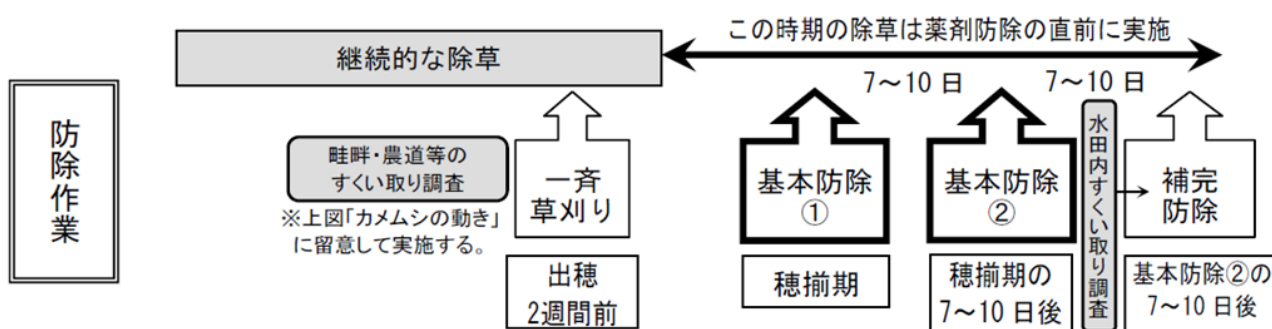
## 【中干し後の水管理】

- ・中干し終了後は、走り水で**飽水管理**(足跡に水がにじみ出る程度)した後、徐々に**間断かん水（2日湛水、2日落水）**に切り替え、根の活力維持に努めましょう。
- ※中干し終了直後に急に湛水すると、根腐れが発生しやすくなるため注意
- ・幼穂形成期（出穂 25 日前頃）～穂揃期の期間は、**水分や酸素を多く必要**とします。
- 出穂期まで間断かん水（2日湛水、2日落水）を継続しましょう!!

## 【斑点米カメムシ類対策】

- ・カメムシが広範囲で確認され、発生量も多くなっています。
- **7月中旬まで継続して、草刈りを徹底しましょう!!**
- ・8月中の草刈は行わず、今後は防除を徹底し、カメムシの被害を抑えましょう。

6月			7月			8月			9月	
上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中



※カメムシ防除は地域一体となって、一斉に防除を行うことが重要です。  
**地域ぐるみでカメムシの被害防止を図りましょう!!**

## 【いもち病対策】

- ・育苗箱施用薬剤の持続効果は7月上旬から中旬ごろのため、7月中旬以降はいもち病の発生リスクが高まります。
- **7月中旬以降早めに予防剤を散布しましょう!!**
- ・圃場の見回りを行い、いもち病の発生が確認されたら、拡大を防ぐため、**治療効果のある薬剤**で適正な時期に防除しましょう!!
- ・**上位葉**（止葉を含め上から3葉）の病斑は**穂いもち**の発生に直結し、品質・収量の低下につながります。
- **早期発見と適切な防除を徹底しましょう!!**

止葉に発生した葉いもち病斑



穂いもち（枝梗いもち）

**農作業事故、熱中症に要注意!! 農薬適正使用を徹底!!**